

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 専門研究B

知的障害教育における キャリア教育の在り方に関する研究

—キャリア発達段階・内容表(試案)に基づく実践モデルの構築を目指して—

(平成20年度～平成21年度)

平成21年度研究経過報告

研究目的

- 「キャリア発達段階・内容表(試案)」を活用した実践を通して、本試案の検証及び改善を行う。
- 「キャリア発達段階・内容表(試案)」に基づいた実践の検証を通して、知的障害教育におけるキャリア教育の実践モデルを整理する。
- 上記の成果を踏まえ、「知的障害教育におけるキャリア教育充実のためのガイドブック(仮称)」を作成する。

平成21年度の研究体制

1 研究スタッフ

研究代表者 菊地 一文 副代表者 大崎 博史
研究分担者 井上 昌士、猪子 秀太郎、小澤 至賢、涌井 恵
所内研究協力者 太田 容次、棟方 哲弥
平成21年度研究研修員 柴田 琢磨、渡部 英治

2 研究協力機関

宮城県立気仙沼支援学校、東京都立青鳥特別支援学校
静岡県立静岡北特別支援学校、和歌山県立たちばな支援学校
広島県立黒瀬特別支援学校、京都市立下京中学校

3 研究協力者

山口 幸一郎氏（早稲田大学 教授）
松為 信雄氏（神奈川県立保健福祉大学 教授）
森脇 勤氏（京都市立白河総合支援学校 校長）
小塩 允護氏（愛知淑徳大学 教授）
木村 宣孝氏（北海道伊達高等養護学校 校長）

研究内容

1 「キャリア発達段階・内容表(試案)及び観点解説」の改訂

2 実践モデルの提案

(1)ツールの開発及び試行

①キャリア教育全体計画の作成

②教育課程の分析及び改善

（横断的側面及び縦断的側面の把握と分析等）

→「**単元における観点位置付けシート**」の活用

③本人の願い及び支援内容の把握と個別の教育支援計画
への位置付け

→「**本人の願いを支えるシート**」の活用

④キャリアの観点をふまえた授業づくり及び授業改善

→「**授業における観点位置付け・授業改善シート**」及び
「**単元においてねらうキャリアの観点シート**」の活用

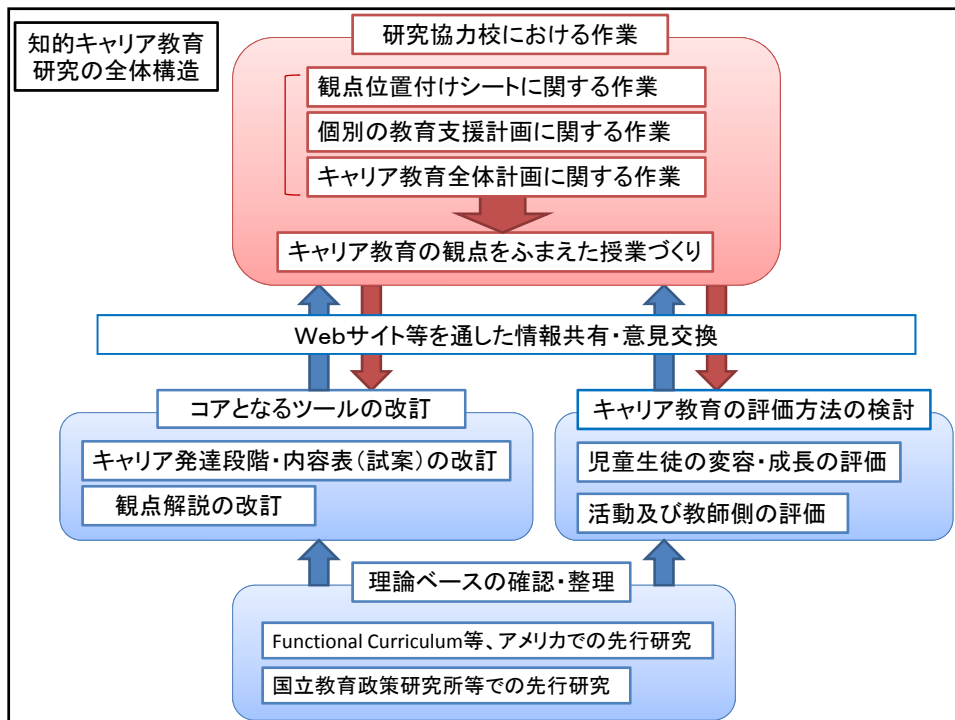
(2)ツールの試行及び評価

研究内容

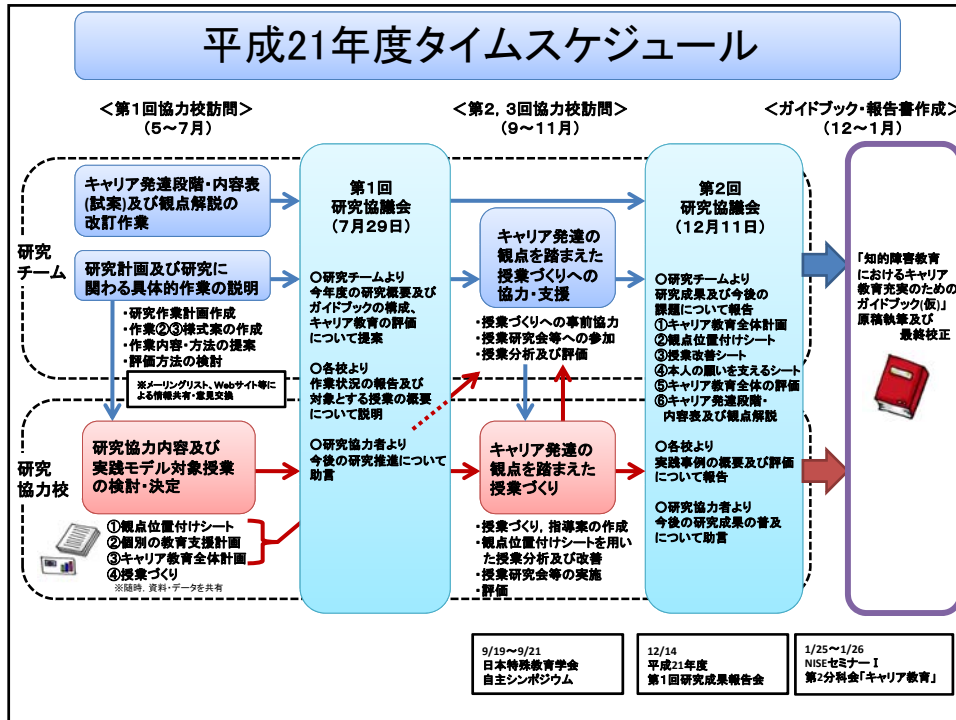
3 その他

- (1) 研究協議会(7/29、12/11の2回実施)
- (2) 研究協力機関訪問(3回)(全体研修会、授業研究会、打合せ等)
- (3) キャリア教育に関する情報収集
 - ① Webサイトの開設及び情報共有、意見交換等
 - ② キャリア教育研究に取り組んでいる学校への訪問調査
 - ③ 国内におけるキャリア教育に関する文献研究
 - ④ アメリカにおける障害のある子どもの「キャリア教育」「自己決定」等に関する文献研究
- (4) 個別の教育支援計画の様式及び記述内容の分析
- (5) 質問紙等によるキャリア教育の評価に関する調査及び分析

4 1～3の知見をふまえたガイドブックの作成



平成21年度タイムスケジュール



研究経過

1 キャリア発達段階・内容表(試案)及び観点解説改訂案の検討

- ・研究スタッフによるBS
- ・研究協力機関等からの意見集約
- ・Webサイトを通しての意見集約
- ・先行研究の分析及び国内及び海外文献研究
- ・新学習指導要領解説の記述内容の確認
- ・前試案及び観点解説作成者との新試案の検討

→改訂版キャリア発達段階・内容表(試案)及び観点解説(2010)の作成

2 ツールの開発・試行、使用手順表の作成及び実施

- (1)「単元における観点位置付けシート」
→気仙沼、青鳥、静岡北、たちばな、黒瀬の5校で実施
- (2)「本人の願いを支えるシート」
→気仙沼、下京の2校で実施。今後、静岡北で実施予定
※「本人の願いを支えるシート」作成のためのワークショップ手順(案)を作成
- (3)「授業における観点位置付け・授業改善シート」
→気仙沼、青鳥、静岡北、下京、たちばな、黒瀬の6校で実施

研究経過

3 キャリア教育に関する情報収集

- ・国内におけるキャリア教育に関する文献収集
- ・アメリカにおける障害のある子どもの「キャリア教育」「自己決定」等に関する文献収集及び和訳
- ・キャリア教育研究に取り組んでいる学校への訪問調査
- ・Webサイトの開設及び情報収集、意見交換

4 キャリア教育の評価方法の検討

- ・文献研究
- ・事後評価のためのアンケート実施
- 研究協力機関及びWebメンバー 計146件の回答(12/11現在)
- ・アンケート結果の分析

5 ガイドブック(案)の作成

- ・1~4の知見の整理
- ・研究協力機関6校における実践報告
- ・研究協力者からの寄稿

知的障害のある児童生徒の「キャリア発達段階・内容表(試案)」

	小学部(小学校)	中学部(中学校)	高等部
キャリア発達段階	職業及び生活にかかわる基礎的スキルを獲得する時期	職業及び生活にかかわる基礎的スキルを土台に、それらを統合して働くことに応用するスキルを獲得する時期	職業及び卒業後の家庭生活に必要なスキルを実際働く生活で応用して実践的に活用するためのスキルを獲得する時期
キャリア発達段階の解説と発達段階	発達段階が明確で、後の柔軟性が必要なスキル獲得の機会が減少している。キャリア教育の観点からは、学校及び生活に関する基礎的スキルを身に付け、適切な自立支援が求められる。適切な自立支援が求められる。	小中学校で獲得したスキルを土台に、職業(働くこと)や生活の場において、変化に対応する力として働くようになる。キャリア教育の観点からは、職業生活に必要な自己決定理解(自らのよきやゆめ)を育み、段階的に職業経験を積んで自らを選択できるように、学校や生活の場を通して、職業の意義、価値を知ることを学ぶ、自己判断による職業選択を始める時期でもある。	中等教育段階で培ったキャリアスキルを土台に、実践に活用できるように求めた職業体験を通じて、職業体験(働く)や生活の場を通して、職業体験を通じて、職業生活に必要なスキルを実際働く生活で応用して実践的に活用できるように、学校や生活の場を通して、職業の意義、価値を知ることを学ぶ、自己判断による職業選択を始める時期でもある。
職業性(価値)の獲得にかかわる能力	小学部段階において育てたい力	中学部段階において育てたい力	高等部段階において育てたい力
個人関係	目的の達成、社会参加、生活の場における自立支援、他者との関係、自己決定	目的の達成、社会参加、生活の場における自立支援、他者との関係、自己決定	目的の達成、社会参加、生活の場における自立支援、他者との関係、自己決定
知的障害のある児童生徒のキャリア発達段階	小学部段階において育てたい力	中学部段階において育てたい力	高等部段階において育てたい力
個人関係	目的の達成、社会参加、生活の場における自立支援、他者との関係、自己決定	目的の達成、社会参加、生活の場における自立支援、他者との関係、自己決定	目的の達成、社会参加、生活の場における自立支援、他者との関係、自己決定
知的障害のある児童生徒のキャリア発達段階	小学部段階において育てたい力	中学部段階において育てたい力	高等部段階において育てたい力

※NISE(2010)改訂版を作成中

単元における観点位置付けシート

単元における観点位置付けシート ◎は主たる観点、○は関連する観点 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2009)

学校名	学部・クラス	部	年	記入者	将来設計能力	意思決定能力
指導形態等 題材・単元名 主なねらい					人間関係形成能力 情報活用能力 将来設計能力 意思決定能力	自己調査 振り返り／肯定的な自己評価 選択／選択（決定／責任） 目標設定
年間指導計画を活用 ①年間指導計画から単元名と主なねらいを転記する		該当する観点に◎○を記入 ②該当するキャリアの観点について◎○を記入する。(主たる観点到◎、関連する観点到○)				
		③位置付けられた◎○を集計する				

授業における観点位置付け・授業改善シート

授業における観点位置付けシート

学部・学年	場所	本時の目標	
教科名	指導者		②授業のねらいを確認する
題材名			
指導案(略案)を活用 ①指導案から学習内容及び支援と指導上の留意点を転記する	観点を記入 ③キャリアの観点を位置付ける	気づきを記入 ④次時への改善点 ⑤教育課程のつながり ⑥生活全体へのつながり等の気づきを記入する	

単元においてねらうキャリアの観点シート

単元においてねらうキャリアの観点

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2009)

単元名	人間関係形成能力	情報活用能力	将来設計能力	意思決定能力		
				自己調査	振り返り／肯定的な自己評価	
単元・活動のねらい	自己理解／他者理解 人とのかわり／ 集団参加／協力・共同 意思表現	様々な情報への関心 情報収集と活用 挨拶、清潔、身だしなみ 場に応じた言動	金融の扱い／金融の管理 消費生活の理解 社会の決まり／ 法や制度の理解	役割の理解と分担 役割の理解と分担 （役割の理解と分担） 習慣形成 夢や希望 生きがい・やりがい 進路計画	目標設定	自己調査
** 学習活動と支援と指導上の留意点						
1	<div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">ねらいとする観点に◎○を記入</p> <p style="text-align: center;">②ねらいとするキャリアの観点について◎○を記入する。(主たる観点到◎、関連する観点到○)</p> </div>					
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
感想						記入者:

年間指導計画を活用

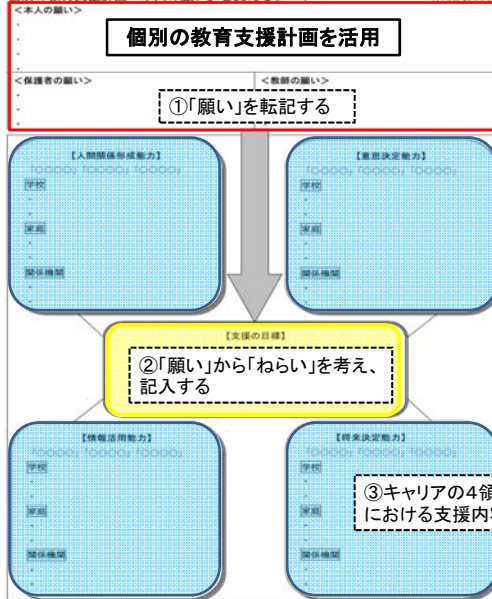
ねらいとする観点到◎○を記入

①指導計画を転記する

②ねらいとするキャリアの観点について◎○を記入する。(主たる観点到◎、関連する観点到○)

本人の願いを支えるシート

個別の教育支援計画「本人の願い」を支えるシート NISE(2009)



本シートは、個別の教育支援計画の中に位置付けることにより、キャリア教育の中核となる「本人の願い」を支援者間で共有し、よりよい指導・支援に活かすことをねらうものである。また、学校内、関係機関との機能的連携を図ることをねらうものである。

※本人の願いを実現するための具体的な支援を考える手続きとして、PATHの手法を参考にしている。